修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　早川泰雄
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）3—36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。

従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務である。

（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

研修旅行募集に積極策

退職者にも呼びかけ

全修協特別委員会開く

全修協では本年度事業の推進拡大を図るため五月二十九日、午後二時から東京・千代田区のグリーン・ホテル会議室で特別委員会を開き、夏季秋季研修旅行の募集強化策および修学旅行今後の方針を確立した。とくに研修旅行については現下の情勢にかんがみ、本部と支部を中核に友誼団体の強力な支援のもと、退職教員などに募集範囲を拡大し、目標の九千名達成へ邁進することになった。この日、本部から山本種一理事長をはじめ青山良道常務理事・東京都支部長（東京都中野区長）が出席者に対し絶大な協力を要望した。（関係記事二面にも）

出席者紹介のあと山本理事長は「現在の旅行は修学、研修をふくめて消費型から知性ゆたかで教養の深いものに移りつつある。公益法人としての全修協は、とくに研修旅行の企画に際してはこの点に深く留意しているところであって、今では全教育界から大きな信頼を得るにいたっている。この認識をふまえ、各支部および友誼諸団体の絶大な協力を希望する」と挨拶した。

また、青山常務理事は「研修旅行は年ごとにコースの拡大とともに内容も充実、先生がたの勉強に役立つばかりでなく、厚生面でも大きな使命を果たしている。本年も各位が一致して事業の推進にご努力を願いたい」と述べた。

続いて前田事務局長は次のように会務報告を行なった。

修学旅行関係では、春闘による国鉄ストでは全修協本部ならびに三地区連絡協が、専用電車の運転を国鉄本社、国労、動労に対し強く要望した結果、全国で三十五本の専用電車が動いた。また、国鉄運賃の値上げは計画輸送を行なっている関係で、五月二十日以降の実施校に格差が生ずるため運賃の据え置きを要望した結果、七月までの修学旅行は旧運賃に据え置き、九月以降は改訂運賃で実施することに決まった。

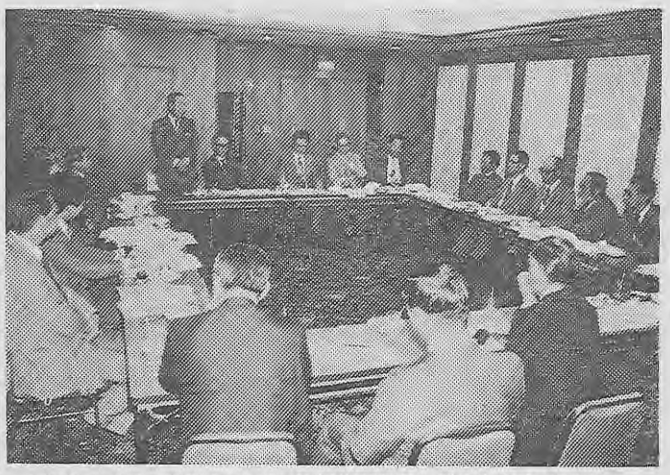
五十四年度の修学旅行実施基準概要調査がまとまり近く関係方面へ配布する。また、補助金関係では要保護・準要保護児童生徒へは中学生三万二千円、小学生一万五百円を要望したが、本年度は中学生三万六百円、小学生九千三百円に決定した。

全修協が中核となって組織されている修学旅行委員会は計画輸送に取り組み、特急・急行料金の減免の特典を受け、修学旅行費の約一〇%に相当する父母負担の軽減に寄与した。その推定額は約一七億七千万円に達している。

研修旅行は春季の第一期が過去八年間のうちの最高を記録したが、これは退職者向けの勧誘など、各支部の工夫努力による教育界への浸透定着が成功したもの。また、同第二期は地区をしぼって実施したが、募集期間が短かかったにもかかわらず該当支部の努力で三コースとも満員となった。

夏季の研修旅行は募集の最盛期を迎えるが、本年こそは目標九千名の念願を達成したい。支部や友誼諸団体各位の絶大なご支援をお願いする。

つづいて研修旅行の現況や今後の対策などについて出席者から活発な建設的意見が述べられ、午後五時三十分閉会した。（出席者の発言第二面に）



全修協特別委。挨拶するのは青山常務理事、その右が山本理事長。

特別委出席者

当日の出席者は次の通り。（順不同・敬称略）

新谷光夫（青森県教育厚生会福祉課長代理）長野猛彦（福島県教職員互助会事務局次長）鈴木春之助（東京都教職員互助会参事）大村義之（静岡県教職員互助組合係長）大場玉枝（群馬県学校生活協同組合）西山文男（三重県支部長）神代義秀（大阪府教職員互助組合事務局次長）清水歳（富山県教職員厚生会業務課長）伊藤深（愛媛県支部長）笠井二郎（広島県学校生活協同組合研修旅行担当）露木喜一郎（神奈川県支部長）

【全修協本部】山本種一（理事長）青山良道（常務理事・東京都支部長）前田寛（事務局長）小泉松雄（研究部長）早川泰雄（広報部長）竹内雅量（中央研修部主管）内山憲二（同部員）

【近畿日本ツーリスト】土肥和彦（取締役・販売推進部長）松本益弘（販売推進部 部長）本政信（同部員）黒田武信（同）

修旅の実態調査

三重県

不寝番は半数以上も

実施率の低い避難訓練

現地指導

一、現地での見学の仕方について

①特定の地域、コースを設定して乗物を使用しないで自由見学（またはオリエンテーリング）をとり入れた見学をしたか。

▽とり入れた＝十八校（一一・三%）▽とり入れぬ＝百四十二校（八八・七%）

ほとんどの学校がとり入れていない。とり入れたと回答した学校も館内、公園内で自由見学をさせた程度のものである。

②自由見学をとり入れない場合の意見。

▽この方式は中学生としては不安である＝五十九校（三九・二%）▽時間的なロスも多く、見学の効果も少ないから＝七十二校（四八・〇%）▽その他＝十九校（一二・七%）

二、①現地での行動や学習に、班別（グループ）編成をどの程度活用したか。

▽主として班別編成を活用した＝百三十一校（八二・九%）▽時どき活用した＝二十六校（一六・五%）▽その他＝一校（〇・六%）

②次の場合、班編成の活用はできたか。

A、集合、解散時の人員の掌握

▽主に班長がした＝百四十一校（八九・一%）▽教師が時どき手伝った＝十七校（一〇・八%）▽不安だから教師がした＝なし。

B、宿舎での部屋割、食事、入浴などの場合。

▽班別編成を活用した＝百三十九校（八六・九%）▽おもに学級別にした＝十七校（一〇・六%）▽その他＝四校（二・五%）

C、宿舎で当日の見学の反省や翌日の見学の話し合いは。

▽班別でした＝九十二校（五五・一%）▽学級別でした＝十四校（八・四%）▽全体でした＝三十校（一八・〇%）▽反省や話し合いの場をもつことは時間的に困難である＝三十一校（一八・六%）

三、見学の場合、説明や指導は

▽主にガイドや見学個所の職員にまかせた＝百四十四校（八五・七%）▽教師が説明するところもある＝二十四校（一四・三%）

四、宿舎での生徒の管理はどんな方法をとったか。

①避難訓練は実施したか。

▽実施した＝十九校（一一・四%）▽実施しない＝四十六校（二七・七%）▽時間的に余裕がなく実施は困難＝三十八校（二二・九%）▽その他＝六十三校（三八・〇%）

「その他」は班長を集めて非常口、避難通路などを説明、指導したものである。

②夜間に生徒の外出（見学）を実施したか。

▽実施した＝四十三校（二七・六%）▽実施しない＝百十三校（七二・四%）

③夜間、生徒の外出（見学）を実施した場合の方法は。

▽個人外出を許可した＝一校。▽班別（グループ）で許可した＝一校。▽一定の地域内で教師の監督下に自由見学をした＝七校。▽教師の引率で外出した＝三十三校。

④生徒の就寝後はどんな管理態勢をとったか。

▽教師も生徒も大体同時に就寝した＝五校（三・一%）▽教師は十二時ごろまで生徒の管理にあたった＝六十八校（四二・〇%）▽原則として生徒の就寝後、起床まで教師は交替して生徒の管理にあたった＝八十七校（五三・七%）▽その他＝二校（一・二%）（つづく）

三地区春季総会ひらく

関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡協議会（永山美知雄会長＝茨城）の本年度春季総会は六月二十二、三日、午後二時から奈良県の信貴山観光ホテル会議室で開催される。

全役員、各修学旅行委員会代表のほか顧問の山本種一全修協理事長も出席する。

新役員選出後、①国鉄修旅列車分割輸送の反省②三地区における動向と情報交換③組織拡大④バス料金値上げの抑制⑤旅行費の上限額とこの対策などの事業計画案を検討するほか研究課題としては①各地に修学旅行の研究協力校を置く②研究者・学識経験者による特別研究委員会（仮称）の設置を協議、翌日は同山の文化財を見学する。

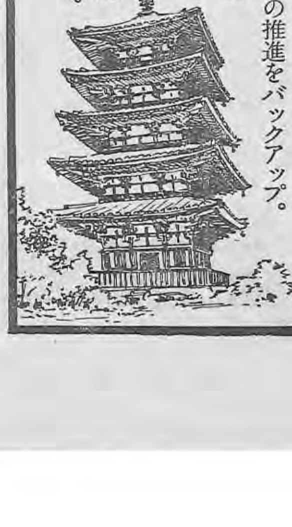
風紋

初夏の風物詩「ホタル」は農薬使用や、川の汚染などで減少したが、最近では人工羽化がさかんで、それを夜空に放って鑑賞する会も開かれているようだ。ホタルは火垂（ほてり）の転〈大言海〉とあるが、夜間に発光するのは日本産二十種類のうち十種類ほどだ。その代表はゲンジボタル（源氏蛍）とヘイケボタル（平家蛍）である▼この美しい夏の夜の妖精のような虫は、古来から人の霊魂だという説がある。これは折からうら盆の季節にも重なっているためではなかろうか。「ホウ、ホウ蛍こい」のわらべうたもこれに関連しているとの説もある。なにしろ「恋にこがれてなく蝉よりも、なかぬ蛍に身をこがす」（松の葉）の名調子を生んだ粋（いき）な江戸がなつかしい▼日本でも昔はホタルが多かったらしく「蛍、シゲク飛ビマガヒテ、オカシキ程ナリ」（源氏物語）とか「蛍ノ多ク飛ビチガヒタル」（枕草子）とある。アフォリズムの名手、清少納言は「蛍の多いのも、また、ほんの一つ二つなど『ほのかに去りて行く』風情も結構」と例によってソツがない▼「物思へば沢の蛍もわが身よりあくがれいづる魂かとぞ見る」と詠んだ和泉式部の歌は平安期女性の嘆息を今も身にしみるほどの絶唱だが、芭蕉の「草の葉を落るより飛ぶ蛍かな」もさすがに観察の鋭さがうかがわれる句。これが近代俳句になると「蛍ぐさき人の手をかぐ夕明り」（室生犀星）と野性的な生臭さが感じられる。天然記念物ゲンジボタルの「ほたる塚歌碑」（山口市）の歌は吉井勇だが、与謝野晶子「みだれ髪」の「蛍ながるる夜風の青き」の明治情緒も捨てがたい▼ホタルは〝甘い水〟ばかり飲むのだと思ったら幼虫の頃は貝類のカワナニを食べ、また、ファーブルによるとカタツムリを溶かして食べる兇悪な肉食動物だといっている。ロマンティックな昆虫の世界にも意外なことが多いようだ。（は）

学ぶ、残す、
自己を見い出す
修学旅行にしたい。
ツーリストが
お世話します。

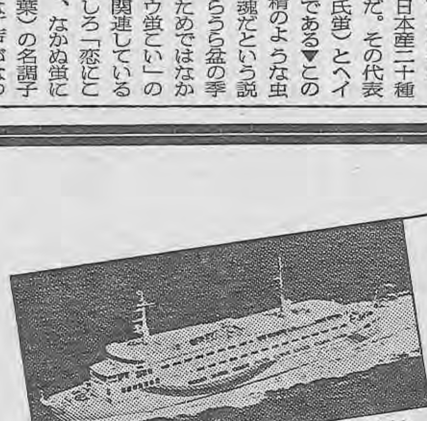
ツーリストは学校の主体性を尊重し、その特性に沿った個性ゆたかな旅づくりと積極的に取組んでいます。地元警察や病院などとの協力体制を密にし、万が一の事故にも万全の構え。また、事前指導用の修学旅行映画を制作し、指導の推進をバックアップ。多彩なご要望に綿密なプランですばやくお応えしています。

近畿日本ツーリスト
運輸大臣登録一般旅行業第20号



KANSAI KISEN

思い出の修学旅行
印象的な、
瀬戸内海の船旅



●貸切専用船「こはく丸」もご利用下さい

●阪神／別府航路（毎日3便）
●阪神／小豆島・高松便（毎日1便）
●東神戸／日向（宮崎）フェリー（隔日1便）

お問合せは＝大阪市港区弁天6—7—15 ☎(06)574—9161
東京都中央区八重洲1-9-9 ☎(03)274—4271
ほか、各地支店駐在員・旅行代理店へ

関西汽船

特別委員会における出席者の研修旅行関係のおもな発言は次の通り。（敬称略）

西山（三重） 参加者は従来の実績からみると在籍教職員の一％ていどとなっている。これ以上の増加を望むためには退職教職員への啓蒙が必要である。本県では退教互とともに六月上旬にかけて地区ごとに宣伝を展開する。

露木（神奈川） 統一地方選挙や主任手当などの問題を抱えたため対応が出遅れたきらいはあるが、六月は組合として積極的な運動を展開する。

長野（福島） 郡山会館の開館で人手をとられたが、本年の目標数だけは達成したいとがんばっている。もちろん退教互と協力する。

神代（大阪） 募集開始が遅れ、しかも補助金にも制限が加わって困難な状況下にあるが、四百五十名を最低目標として確保する予定である。企画関係では移動型のコースには倦きがきているように見受けられる。特別研修も大量動員できるコースでない。これからは家族で参加できる短期間のコースで低廉な滞在型が必要であろう。

参加者獲得に新機軸

全修協特別委の発言から

新谷（青森） 国際児童年にちなむ特別企画をたてたが時期的な点で取りやめた。今後はその年度の行事にかかわりのある企画で実施してほしい。特別研修コースは同一の参加者が多く固定化しておりまた海外コースは増えている。退職者向けとしては六月二十八日から山陰コースで実施する。

清水（富山） 現在では全修協企画のほかに他団体のものもあり、目標達成に苦労している。しかもコースの季ごとの広がりや補助金給付の問題もあるが、これらを克服して努力したい。

伊藤（愛媛） 現在では学生協独自でチラシの配布やPRをしている。今後は校長会にルートを求めてチラシの配布をしたい。

笠井（広島） 昨年、広福協が結成されたが、まだ実質的な活動は行われず、これからはこの組織を有効に活用したい。

鈴木（東京） 昨年と本年、退職者向けのコースを実施したが非常に好評だった。マンネリ化を防ぐため実態調査を行う必要があろう。実施会社は修学旅行勧誘の際研修旅行の存在を知らせることや若年教職員の要望など聞く必要がある。

大村（静岡） 可能な限りのPRを実行している。これからは短期間コースの企画を希望する。

大場（群馬） 学生協独自で執務しているが、チラシ配布では人手不足。今後の企画では全修協の特性を出すこと、口コミによる参加者拡大も心がけるべきだ。

研修旅行五句

飯田きよし

春風や鶯張りの石畳（山口・常栄寺）
初花やザビエル聖堂鐘が鳴る（山口・ザビエル記念聖堂）
藩校の堀割りの鯉春寒し
春の旅紙人形を子らに買う
殉教の乙女峠の糸桜（三句、津和野にて）＝俳人協会員

夏の研修旅行
国内コース

全修協企画、各都道府県教委後援による本年度教職員研修旅行は全教育界から白熱的な人気を呼び、早くも満員のコースも出た。本部では急拠、増設を講じて要望にこたえるなど大わらわである。本年の特色は充実した研修行事で、教職員の旅行に好適といえよう。国内は前後期をふくめ二十七コース、海外は四コースで実施される。以下、コース日程などをご紹介する。くわしいことは学校に掲示のチラシをご参照のこと。お問い合わせは全修協本部中央研修部か各支部、または友誼団体へ。

■北海道一周A
往路＝列車、復路＝飛行機。六泊七日。地区によっては七泊八日。実施は北海道を除く全地区。

■北海道一周B
往復とも飛行機。四泊五日。実施は北海道を除く全地区。

■利尻・礼文
往復とも飛行機。四泊五日。実施は北海道を除く全地区。

■知床・納沙布
往復とも飛行機。四泊五日。実施は北海道を除く全地区。

■九州一周
往復とも飛行機。六泊七日。実施は中国、四国、九州を除く全地区。

■沖縄と八重山諸島
往復とも飛行機。四泊五日。実施は全地区。

■東北一周
往復とも列車。五泊六日。実施は北海道、東北を除く全地区。

■奥東北
往復とも列車。五泊六日。北海道、東北を除く全地区。

■佐渡が島と能登・越前
往復とも列車。五泊六日。実施は北陸を除く全地区。

■磐梯・蔵王と出羽路
往復とも列車。四泊五日。実施は北海道、東北を除く全地区。

■信濃路
往復とも列車。四泊五日。実施は関東、北陸、東海を除く全地区

■吉野・十津川と熊野路
往復とも列車。五泊六日。実施は近畿を除く全地区。

■四国一周
往路は一部地区が列車、一部は飛行機。復路も同じ。五泊六日。実施は近畿、中国、四国、九州を除く地区。

■山陰
往復とも列車。五泊六日。実施は近畿、中国、四国、九州を除く全地区。

■芸予諸島
往復とも列車。三泊四日。実施は近畿、中国、四国、九州を除く全地区。

特別研修コース

▼奥の細道▼尾瀬の探勝▼安曇野と塩の道▼大台が原と大杉谷▼信州佐久の文学と蓼科の自然▼比叡山と近江路。

〃〃〃〃〃〃 海外特選コース

▼南スペイン・ハイライト
七月二十八日（予定）から十日間、三十九万三千円、しめきり六月三十日。

▼ハワイ・文化交流の旅
七月二十八日（予定）から七日間、二十六万円、しめきり六月三十日。

▼ヨーロッパ・ロマンチック街道
日教組と共催、八月七日から十五日間、四十五万八千円、しめきり六月十六日。

▼友好訪華
A・八月六日から十一日間、三十二万五千円。
B・十一月二十日から十五日間、三十七万五千円、しめきり六月三十日。（公私立小・中・高校長、副校長、教頭、私立校の正副理事長などに限る。

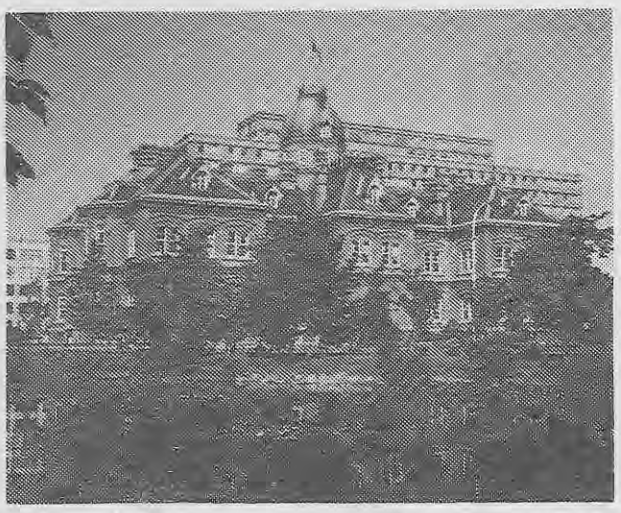
申し込みはいずれも全修協中央研修部。

能登半島を一周

東京私学の現地研修会

全修協主催による第十六回東京私学修学旅行現地研修会は東京私立中学高校協会修学旅行研究調査会協賛、石川県、金沢市、輪島市の後援で八月二十日から同二十三日まで三泊四日の「能登半島全周の探究」を行う。定員八十名、会費六万二千円。申込みは全修協中央研修部。コースは次の通り。

①羽田空港—小松空港—金沢—羽咋—七尾—和倉②穴水—宇出津—能登小木（九十九湾めぐり）—珠洲—寺家—禄剛崎—岬自然歩道自由散策—川浦—揚げ浜塩田跡—仁江—曽々木海岸③下時国家・輪島市民俗資料館・上時国家—棚田—黒川—棚田—穴水—輪島—白米千枚田—名舟（御陣乗太鼓会館）—輪島（輪島塗工程見学ほか）④輪島の朝市—門前—関野鼻—富来（能登金剛船めぐり・増穂浦自由散策）—羽咋—金沢駅（解散）



↑昨年度研修旅行写真コンクール入賞作品「水城」（旧北海道庁舎）磯部千代子さん（東京・葛飾区立梅田小）

夏のコース

前　期

（七月下旬—八月上旬）

一般コース

▼北海道一周A▼北海道一周B▼知床・納沙布▼利尻・礼文▼東北一周▼奥東北▼磐梯・蔵王と出羽路▼佐渡が島と能登・越前▼信濃路▼木曽・飛騨とアルペン・ルート▼吉野・十津川と熊野路▼四国一周▼芸予諸島▼山陰▼九州一周▼沖縄と八重山諸島。

特別研修コース

▼奥の細道（芭蕉をたずねて）▼尾瀬の探勝▼安曇野と塩の道▼大台が原と大杉谷▼信州佐久の文学と蓼科の自然（滞在型）▼比叡山と近江路（同）

後　期

（八月下旬）

一般コース

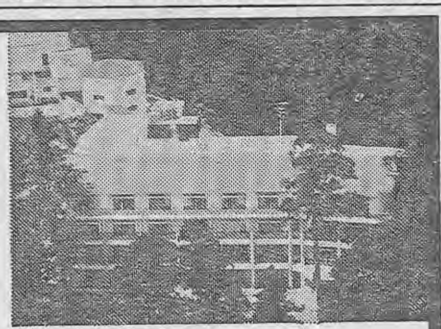
▼北海道一周A▼北海道一周B▼知床・納沙布▼利尻・礼文▼奥東北。

【ご注意】地区、都道府県によっては実施しないコースもあるのでご注意のこと。

写真コンクール

ことしも研修旅行写真コンクールを全コースで実施する。北海道コースには同知事賞、同観光連盟賞、九州コースには同観光連絡協議会賞のほか入賞者へ賞金、記念品、賞状がおくられる。要項と応募は研修旅行参加者に配布する。

修学旅行のお宿に
全館を開放



■延暦寺会館本館
■別館比叡
■延暦寺会館第1別館　〈収容600名様〉
■延暦寺会館第2別館

☆素晴らしい琵琶湖の夜景
☆根本中堂で早朝の座禅
☆スッキリした気分で次のコースへ
☆頭のよくなる精進料理
☆夜間は講話や映画上映を無料でご奉仕

〈国際観光旅館〉
比叡山　延暦寺会館
TEL　0775－78－0047・0554
TELEX　5464－917

若者・紺青の海・純白の船

貸切専用純客船
さくら（13,000トン）
ひかり（4,000トン）

・スケジュール・コースはご自由に
・旅客定員 1,800名
・サロン・休憩室・医務室完備
・船内でのグループ活動・学習に最適
・全室エアコン完備
・一般客との混乗なし

Ⓐ大島運輸株式会社東京支店　東京都中央区日本橋通1－3－11 浅野ビル9F　TEL 03-273-8911

春の後楽園
全米を熱狂させた
7月後楽園に登場！
絶叫マシーン
360度垂直回転・宙がえりコースター
ブーメラン
70メートルから降下・パラシュートタワー
スカイフラワー
バトルフィーバーJ（ジェー）
日・祝日 野外劇場公演

株式会社　後楽園スタヂアム　〒112 東京都文京区後楽1-3　☎(03)811-2111（大代表）